



# ECANつうしん

No.9

2019年5月

～ 今年度の活動への抱負 ～

理事長あいさつ 早瀬 隆司



海の中ではプラスチックの量が魚よりも多くなり、一方、地球全体では気候に大きな異変が起こりつつあります！

人間活動は科学技術と莫大なエネルギー消費との恩恵で肥大化し、人間の生活空間は自然との間の隔壁をますます高くしてリスクゼロの人工空間に閉じこもろうとしているように見えます。私たち一人ひとりの力は小さいものですが、少しでも大きなベクトルにしていかなければ耐えられないような将来が待っています。「環境カウンセリング協会長崎 (ECAN)」では、会員の力を合わせて、行政や市民そして企業や学術団体とパートナーシップを広げ、「持続可能な開発のための教育 (ESD)」、「海岸漂着ごみ」、「環境国際協力」、「再生可能エネルギーの普及」の四つを優先課題として取り組み、循環共生型の地域づくりに貢献していきたいと思えます。

## 海岸漂着ごみへの取り組み

ECAN では、これまで、長崎県や離島地域の 4 市町と協力しながら海岸漂着ゴミの発生源対策のための普及啓発事業に取り組んできました。平成 30 年度は 2 つの事業を実施しました。一つは、長崎県からの委託による海ごみ交流事業です。韓国と日本の高校生によって、五島市の八朔鼻海岸の漂着ゴミを清掃し、プラスチックごみの悪減のために自分たちでできることについて話し合ってもらいました。今一つは、新上五島町からの委託による海ごみ SOS ツアーです。一般市民に呼び掛けて参加者を募り、頭が島海岸と祝言島の海岸清掃をし、ワークショップで学びあいました。無人島の砂浜でさえ何層にも重なって打ち上げられたプラスチックで酷く汚染されている現実を目の当たりにして大きな衝撃を受けた市民も多くおられました。今年度は、県の委託による海ごみ交流事業を新上五島町で実施することが決まっています。今後もこのような普及啓発事業を効果的に発展させるとともに、具体的なプラスチックごみの排出抑制やリサイクルのための活動にも取り組んでいきたいものです。



海ごみ交流事業 (五島市)  
長崎県廃棄物対策課委託事業



海ごみ SOS ツアー (新上五島町)  
新上五島町委託事業・セブンイレブン財団補助事業

## インドネシアで環境協力—有機性ゴミの分別とエネルギー利用

インドネシアの首都ジャカルタは、人口の自然増社会増が急速に進み廃棄物の減量化や処理が喫緊の課題になっています。ECAN ではジャカルタの比較的所得者層の生活する自治会と協力して、ごみの分別収集による減量化とそのうちの有機性廃棄物からのエネルギー回収についての技術協力に取り組んでいます。このような地域では、収集のための街路も狭小で、坂の町長崎のゴミ回収の仕組みがとても参考になると喜ばれています。また、ジャカルタでは貧富の格差が大きいことや人口増に伴う都市の拡大のため、公共下水道の整備が進まず、生活系排水による水質汚濁も進行しています。そのため、共同トイレの設置や、トイレや浄化槽からのメタン回収の仕組みなども技術移転しています。昨年度に引き続き今年度も経済団体連合会の自然保護基金から活動のための助成をいただくことになりました。感謝とともに有効に活用していく所存です。



有機性廃棄物回収  
活動の試行的実施



し尿浄化槽



共有トイレ



Lenten Agung の  
住宅密集地

## E S D (ESD は「持続可能な開発のための教育」の略)。

ESD(持続可能な開発のための教育)は、我々が抱える複雑多様な地球的規模の課題の解決に向けた重要なアプローチです。ECAN では、これまで、対馬市や長崎市で学校教育と地域活動(主として環境分野)との関係づくりを通して、小学生たちに環境問題や地球のことを考える機会を提供することに貢献してきました。これからもこの活動を続けていきたいと思っています。しかし、このような活動のための仕組みはまだ試行錯誤であり、このための予算が準備されているわけでもありません。これからも知恵を使いながら、このような活動を持続していきたいものと考えています。



長崎市立高城台小学校での実践例(平成30年度)

## バイオマスエネルギーの熱利用で気候変動対策

ECAN では、長崎市の二酸化炭素の排出量削減計画に貢献するため、長崎に豊富に存している森林資源を活用した木質バイオマスボイラーの利用のための仕組みづくりに取り組んでいます。「木を集め」、それを「熱に変え」、「利用していく」、ためには多くの分野の連携協働が必要です。昨年度は、その連携のための仕組みづくりと将来計画づくりを野母崎地区で行いました。今年度は

昨年度の土台の上に事業の具体化に向けて進めていく予定です。地域の再生可能資源を活用して、従来は電気代や石油等の化石燃料代などとして地域外に流出していた富を地域内で循環させることになり、地域の活性化と地球環境の保全に寄与します。昨年度の成果を踏まえて、今年度も長崎市南部地域のバイオマス利用による循環型社会の形成に取り組んでいく方針です。

## エコアクション 21 地域事務局ながさき

「エコアクション 21 認証・登録制度」は、環境省が策定したガイドラインに基づき、環境への取組みを適切に実施し、環境経営のための仕組みを構築、運用、維持するとともに、環境コミュニケーションを行っている事業者を、環境省が認めた第三者機関が認証し登録する制度です。中小企業等でも容易に取り組めるエコアクション 21 を活用して環境経営に取り組む事により、環境負荷を減らすと同時に経営上の効果も期待出来ます。今年度も認証登録取得する為に、長崎市/佐世保市主催の自治体イニシアティブプログラムを開催予定となっています。

## 三次元紙芝居 (紙芝居と人形劇を組み合わせた環境紙芝居)

ECAN は設立当初から三次元紙芝居で子供たちなどに環境の保全の大切さを訴えてきました。しかし、人数や手間がかかることから最近では活動が停滞していました。しかし、今年度は長崎大学海援隊の学生たちと協力して、三次元紙芝居を再度立ち上げて海洋のプラスチックごみ対策を訴えていきたいと考えています。幸いなことに、九州北部税理士会のご理解が得られ、ボランティア団体助成金を活用できることになりました。



過去に開催した三次元紙芝居の風景  
(今年度は新しい脚本の立ち上げから活動していきます)

## エコドライブ普及事業

エコドライブの普及・啓発のため、長崎県の環境アドバイザー制度を利用し、各市町のイベント等に出展しています (エコドライブシミュレーターの体験・エコドライブ等に関するパンフレット配布)。また、各自治体の職員や事業社等を対象としたエコドライブ講習会も開催しています。今年度も同じように事業展開をしていきます。

## 2070 年の Nagasaki を想う会

環境カウンセリング協会長崎では毎月、いろんな分野の活動をなさっている方からのお話を聞いて語りあう場を持っています。2070 年に生きている次世代の人たちの長崎にどうつながっていくのかを学びあう場です。今年度も共に学びませんか？ 会員の方にメールでご案内します。喉も潤いますよ。(参加無料、懇親会 2,000 円)

## イオン 幸せの黄色いレシート

幸せの黄色いレシートキャンペーンは、自分の買物でだれかを幸せにする仕組みで、投函されたレシートの記載額に応じて社会貢献団体にイオンから助成金を寄贈していただきます。今年度は、51,800 円のイオンギフトカードを頂くことが出来ました。

チトセピア(長崎市住吉)地下 1 階にて毎月 11 日に売り場に出て、黄色いレシートの投函をお願いする活動をしています。会員の皆様も毎月 11 日のイオン・デーのお買い物の際には、黄色いレシートを当 NPO 法人の BOX へ投函お願いいたします。



## 茂木南部地区における市民も参加できる営農環境の保全

関連団体である NPO 法人ながさきエコネットでは、平成 31 年度長崎市提案型協働事業として「茂木南部地区における市民も参加できる営農環境の保全事業」に取り組んでいます。大崎集落を活動地域として、日本一のびわ産地を維持発展するために営農環境の保全と人の交流育成を目的に活動します。



## 太陽光発電「屋根借り」モデル事業

公民館の屋根に太陽光発電システムの設置を進めるプロジェクトに取り組みます。ECAN と関連団体である(一社)おひさま Net ながさきとは、HTB エナジー株式会社と連携し、太陽光発電「屋根借り」モデル事業のコーディネートを開始します。公民館にも屋根貸し料収入があり、さらに昼間の電気使用料金(発電中)を削減できるメリットがあります。

## 平成 31 年度会費納入のお願い

会費・寄付募集中！環境についてともに考え活動しませんか？

環境カウンセリング協会長崎は、事業者、学術機関及び行政のパートナーシップの形成を図り、それぞれの環境への取り組みを支援することを目的に設立されました。環境に配慮した社会を根付かせ、人と自然が共に生きる心豊かな長崎を次世代に引き継いでいくために、企業、団体、学術機関、行政そして市民としてそれぞれの立場からのご支援とご協力をお願いいたします。

会員の種類	入会金	年会費
個人会員	1,000円	3,000円
学生会員		1,000円
企業会員		10,000円
団体会員		30,000円
賛助会員		一口50,000円以上

振込先

特定非営利活動法人

環境カウンセリング協会長崎

十八銀行 県庁支店

普通預金 0051154

### ECANつうしん No.9

発行：NPO法人環境カウンセリング協会長崎

住所：長崎市五島町 3-3 プレジデント長崎206号

E-mail：jimu@npo-ecan.org

URL：http://www.npo-ecan.org/

TEL：095-818-3305

FAX：095-826-3693

編集 早瀬・宮原・山田・牧